



神埼市 議会だより



横武地区伝統の「百手まつり」無病息災や豊作の祈りを込めながら、的を射抜く参加者
(昭和48年2月17日に神埼市の重要無形民俗文化財として登録)

2月定例会 6月定例会は6月5日開会予定です。

目次

2月定例会の日程変更について	2P
各種委員会の委員について	2P
令和2年度一般会計予算及び特別会計予算	3～6P
賛否があった議案	6P
令和元年度一般会計補正予算「これが聞きたいQ&A」	7～12P
各常任委員会のQ&A	13P
一般質問	14P
決議の提出	15P
議会の動き・編集後記	16P

第53号

令和2年5月20日
2020年

定例会の日程変更

議長 山口 義文

今期定例会につきましては、会期日程を 2 月 28 日から 3 月 24 日 (26 日間) としておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大する今日の状況に配慮し、2 度の会期変更を行いました。

変更内容としては、新型コロナウイルスの状況変化に対応できるよう、議案の採決を早期に行い、一般質問を会期後半に行うこととしました。しかし、3 月 13 日夜に佐賀県内で感染者が確認されたことで、再度協議を行い、市民の安全安心を考慮するとともに市執行部が感染症対策に専念できるよう、3 月 16 日に定例会を閉会することに決定しました。

このことにより、一般質問につきましては当初 17 名の議員が通告されておりましたが、会期を短縮したことにより、8 名の議員が一般質問を取りやめなければならない状況となりました。

市議会としましては、新型コロナウイルスの感染対策のひとつとして考え、判断を行ったところでございます。

今後とも、市議会に対しましてご理解ご協力をお願いいたします。

特別委員会の設置

委員会名	委員長	副委員長	委員
令和 2 年度 予算特別委員会 (19 人)	永沼 彰	宮島 清	議長除く全議員 (17 人)

教育委員会委員の任命 (任期は 4 年)

山 田 美知子

固定資産評価審査委員会委員の選任 (任期は 3 年)

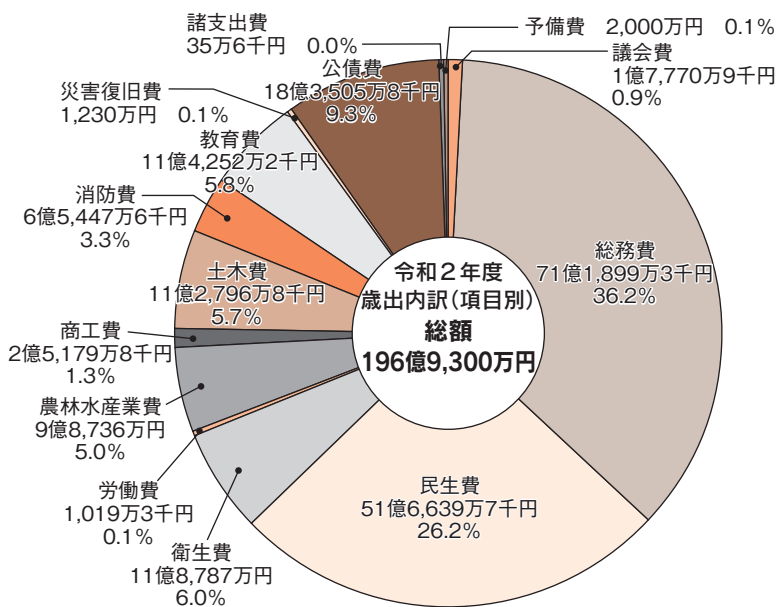
大久保 政 晴

令和2年度 一般会計当初予算

前年度当初予算に比し30億1,300万円増

196億9,300万円

令和2年度 一般会計当初予算



※円グラフの数字は、見やすいように金額を四捨五入して記入しています。そのため、総額と各項目の合計は一致しません。

令和2年度予算編成について

令和2年度の一般会計当初予算については、合併特例事業債の活用や普通交付税の合併算定替えによる「合併による優遇措置を受ける期間」の最終年度であることを踏まえながら、「第2次神崎市総合計画実施計画」を反映し、計画に掲げる事業を進めるための編成内容となっております。

これまで数年に亘って取り組んできた、新庁舎建設事業・脊振町複合施設建設事業・千代田庁舎第1期整備事業が令和2年度に完了し、神崎市のまちづくり及び防災の拠点となります。

主な新規事業は、令和2年4月から三瀬・神崎線の路線バス・脊振町通学バスが再編されることから新たな事業者による運行の取り組みを行う「神崎市生活交通路線維持事業」、「脊振町通学バス運行事業」、および道路に接した倒壊の危険性が高いブロック塀等の除去を行う者に補助金を交付する「危険ブロック塀等除去費補助金」などに取り組むこととしております。

単位：千円

主な新規事業	予算額
神崎市生活交通路線維持事業	40,776
脊振町通学バス運行事業	40,857
神崎情報館管理運営事業	28,603
千歳漁港機能保全計画策定業務	4,334
農村地域防災減災事業 (伊勢塚第2ため池)	7,100
農業水路等長寿命化・防災減災事業 (ハザードマップ作成)	7,800
森林環境譲与税事業 (森林経営管理業務)	3,850
棚田地域保全活動支援事業	1,218
特用林産物生産基盤整備事業	723
舗装長寿命化事業 (公共施設等適正管理推進事業)	20,400

予算特別委員会の主な質疑

総務企画部

神崎情報館管理運営事業について

Q 観光協会と管理運営を共同で行うとのことだが、観光協会の位置付けはどう考えているのか。

A 現在の神崎市の観光協会は民間型ではありますが、実務は商工観光課の職員が行っており、将来的に観光協会という形の中での独立した組織としていた方がいいと思いますが、情報館の運営につきましては、協力してやっていきたいと考えております。

定住促進対策事業について

Q 市独自の事業である「定住促進対策事業」と県と市が共同で実施している「地方創生移住支援

事業」について、両方の補助金を貰うことが可能なのか。それとも、どちらか一方だけなのか。

A 地方創生移住支援事業については、昨年10月1日に県が立ちあげ、県内市町と共同で行うことになりましたが、定住促進対策事業については神崎市独自の事業です。それぞれの交付要綱に該当する場合は、別々に交付いたします。一人でも多く該当する方がいてくれればと思います。

東京23区から佐賀県に移住・就職すると
(在任者または通勤者)

大 単身 60万円
世帯 100万円が支給されます

市民福祉部

佐賀県東部環境施設組合負担金について

Q 佐賀県東部環境施設組合に加入する際の試算では、単独より広域で建設する方がコストが安く、リサイクルセンターも併設されることになっていたが、現在では加入時の条件と大きく違っている。神崎市の負担総額はどうなるのか。

A 今後、経費がどう変わるのか比較検討する必要があります。

障害児支援給付事業について

Q 放課後等デイサービスは、全国的に施設運営が非常に厳しくなっている。現在の施設数、利用者数はどうなっているか。また、運営状況はどうなっているか。

A 現在市内に4施設あります。利用者数は全体で、令和元年度は55名、令和2年度は65名となっています。運営状況については、情報等を見ながら調査したいと思っております。



(次期ごみ処理施設建設予定地)

国民健康保険診療所特別会計

へき地診療所設備整備事業について

Q 歯科でレントゲンを撮った場合、すぐに見ることができるとのことですが、実際にはどうなっているのでしょうか。

A 歯科用X線については、平成27年度に購入して、現在はモニターで見ることが出来ます。

産業建設部

千歳漁港機能保全計画策定業務について

Q 漁港利用者は水産業従事者の方以外に、一般の方も利用できるのか。また、水産業従事者の現状はどのようなになっているのか。

A 一般利用者については把握しておりません。平成30年度の港勢調査によると、経営体が4経営体で組合数は10となっていました。現在では経営体が1減となっています。

王仁博士顕彰公園活用事業について

Q 王仁博士顕彰公園活用事業と神崎市周遊バスツアー（神崎市魅力発信事業）との関連性についてはどうなっているのか。

A 神崎市周遊バスツアーコースの経由地の一つとして王仁博士顕彰公園があり、市全体の観光地をPRすることを目的としております。一人でも多くの方に神崎市へ来ていただくことで、市内観光地への誘客促進と特産品などの販路拡大に向けた取り組みとして実施しています。

城原川改修・城原川ダム建設促進期成会負担金について

Q 令和2年度の城原川ダム関連の事業はどのような計画をされているのか。

A 事業促進のため、国土交通省へ要望活動をしております。城原川ダムについては、地元への補償関係の勉強会等を実施されており、市としては地域振興計

画等についてできることを早めに行っているかと考えています。

下水道事業会計

浄化槽新設改良費について

Q この事業を始めて20数年が経過し、千代田地区の合併浄化槽には結構古いものがあるが、更新はどうなるのか。

A 今現在、全体を更新するという形では出てきておりません。プロローが壊れたとか、ろ材が外れたとか、修繕で対応できるものは修繕で対応してあります。浄化槽本体の機能が修繕で対応できなくなった場合には本体を交換することになります。

神崎市周遊バスツアーのコースの1つ

* 9:30	神崎市役所 (出発)
* 9:40	櫛田宮・・長崎街道神埼宿 (櫛田宮参拝後、桜を愛でる旅に出発)
* 10:00	大町橋・・日の隈桜街道 (車中)
* 10:10	日の隈公園の桜 (下車) トイレあり
* 10:30	勢福寺城址 (車中)
* 10:50	宝珠寺ひめしだれ桜 (下車) 徒歩
* 11:30	仁比山公園の桜 (下車) トイレあり
* 11:50	昼食「百年庵」
* 12:30	脊振桜街道・・眼鏡橋 (車中)
* 12:40	高取山公園の桜 (下車) 買物可 (トイレあり)
* 13:20	倉谷・・広滝第一発電所 (車中)
* 14:00	伊東玄朴生家・・九年庵 (外観)・・ 仁比山神社 (下車) 徒歩
* 14:40	白角折神社 (千年楠と桜) 梅の花買物可 (トイレあり)
* 15:00	王仁博士顕彰公園 (下車)
* 15:30	吉野ヶ里遺跡・古代官道 (車中)
* 15:40	神崎市役所 (到着)

教育委員会

小学校教育 ICT 振興事業について

Q 「小学校教育 ICT 振興事業」での備品購入費に計上されているのは、1年生から6年生までのソフト代ということか。またソフトのライセンス使用期間はいつまでか。

A ソフトの使用については学校単位で1校1ライセンスとなります。市内の小学校は7校です。また使用期間につきましては、教科書が使える間の権利をライセンス取得することになります。

て 神崎市体育施設改修事業について

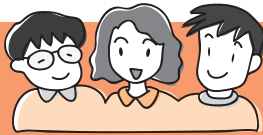
Q 国民スポーツ大会へ向け、県を挙げて取り組んでいる事業



国民スポーツ大会にて剣道競技とハンドボール競技が予定される中央公園体育館

A 県からの補助金については、国民スポーツ大会の整備費補助金がありますが、交付要件に施設を改修しなければ競技ができない場合とあり、中央公園体育館のLEDと天井は改修となりますが、現在県と補助対象となるかは協議中です。

だと思いが、財源として県からの補助金はあるのか。



賛否があった議案を紹介します。

議案第15号 令和2年度神崎市国民健康保険事業特別会計予算

議案番号	議決結果	山口 義文	簗原 忍	山本 千佳	服巻 玉美	吉田 守	西原 正剛	宮地 明	中野 均	宮島 清	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	木原 憲治	松本 軍二	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美	片江 護
議案第15号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

〈議案に対する反対討論〉 佐藤 知美 議員

反対の理由は、当初予算編成に対し国保被保険者の「国保税は高すぎる、引き下げをして欲しい」という声に応える施策の取り組みがなされていないことです。2018年度から県単一化に移行し、わが市だけでは遣り難いということは分かりますが、それでも全国の自治体の一部では法定外繰入を行い引き下げを実行しています。

厚労省の罰則としてペナルティーを課していますが、神崎市においても若い世帯の要望に応じて子どもの医療費助成事業を実施されていますが、ペナルティー負担として一般会計から140万円を国保特別会計に繰り出しを行っています。

このことは、市長の政策的判断で国保税の引き下げもできるということを述べて反対討論とします。

令和元年度一般会計(補正第7号)

4億7,468万4千円を追加

■ 主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
ふるさと寄附金基金積立金	300,000	神崎市へのふるさと納税寄附金を市の事業へ充当するため、ふるさと寄附金基金へ積み立てるものです。平成 30 年 7 月より「ふるさと納税ポータルサイト」の契約内容の変更、そして 8 月末より納税ポータルサイト 2 つを追加、さらに本年度も新たなポータルサイト 2 つを追加し、全国の納税者に情報発信しています。また、お礼の品や寄附の区分の見直し等も行い、事業の推進を図っています。これらにより、今年度の寄附額が現計予算を上回ることが想定されるため、寄附額の増額に伴う基金積立の補正を行うものです。
ふるさと納税推進事業	174,684	ふるさと納税を推進するための財源の確保と、地域経済の活性化を図り、神崎市の特産品ひいては神崎市の魅力を全国に発信するものです。今年度の寄附額が現計予算を上回ることが想定されるため、寄附額の増額に伴う経費の補正を行うものです。



令和元年度一般会計(補正第 8 号)

1 億 2,773 万 8 千円を減額

■ 主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業	8,610	<p>令和元年 8 月豪雨(7 月、9 月台風を含む)による浸水等により、農作物等への被害を受けた農業者等に対し、営農再開や被災作物の草勢・樹勢の回復等に必要な生産資材の購入に要する経費を支援することで、農業者等の再生産意欲の高揚と経営安定を図るものです。</p> <p>(1) 営農再開等支援対策事業 被災した作物の再定植及び次期作等の栽培開始に必要な生産資材の購入に要する経費を助成 8,261 千円</p> <p>(2) 草勢・樹勢回復等支援対策事業 被災した作物の草勢・樹勢の回復のために必要となる生産資材の購入に要する経費を助成 349 千円</p>
千代田中学校体育館改修事業(防災機能強化)	150,907	<p>老朽化により劣化した千代田中学校体育館の屋根・外壁及び吊り天井の落下防止、防水を行い、学校施設の長寿命化及び生徒の安全を確保すると共に、災害時の避難所としての安全確保を図るものです。</p> <p>この改修工事については、文部科学省に申請した平成 28 年度からの 5 ヶ年建築計画において令和 2 年度に工事実施を予定していましたが、今回、国費の交付決定が令和元年度に前倒しされたため、予算の補正を行うものです。(令和 2 年 1 月 16 日に交付決定)</p>

令和元年度一般会計(補正第 9 号)

307 万 1 千円を追加し

総額 187 億 8,464 万円となる

■ 主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
道路橋梁新設改良事業(単独事業)	3,071	市道拡幅等の改良を実施し、市道利用者の安全・安心の確保と生活環境の改善を図るとともに市道機能の向上を図る。市道国営千代田西 1 号線改良事業において、地権者の内諾が得られたことから、早期に用地の買収を行うため増額補正を行うものです。



市道国営千代田西 1 号線(神崎町永歌)

これが聞きたい!



扶助費 3,613 千円

(事業の目的)

日本国憲法第 25 条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。(生活保護法第 1 条)

Q 入院分の支出増により、医療扶助費が 6,507 千円増えている。この入院の分の内訳について説明をお願いしたい。

支出増の理由としては、6ヶ月以上の長期入院者が、平成 30 年度は 8 名、令和元年度は 1 月末現在で 12 名と増えています。入院患者の総入院期間が令和元年度 1 月末現在で 2,957 日、平成 30 年度より 468 日増加しており、医療扶助費の増加につながっております。

(歳出)

(単位：千円)

区分	予算現計額	今回補正額	補正後予算額	内容説明
生活扶助費	67,032	2,252	69,284	月平均受給世帯数が 7 世帯増加したため
住宅扶助費	30,780	159	30,939	月平均受給世帯数が 3 世帯増加したため
教育扶助費	1,217	△ 610	607	年度途中の保護廃止により、対象児童が減少したため
介護扶助費	9,216	0	9,216	
医療扶助費	168,000	6,507	174,507	入院分の支出が当初見込額より増加したため
出産扶助費	258	△ 258	0	当初見込 1 名が 0 名になったため
生業扶助費	1,587	△ 761	826	就職費用の支給対象者が当初見込みより減少したため
葬祭扶助費	361	10	371	1 件当たりの支給額が当初見込額より増加したため
施設事務費	12,706	△ 3,581	9,125	年間延べ入所者数が 21 名減少したため
就労自立給付金	300	△ 105	195	1 件当たりの支給額が当初見込額より減少したため
進学準備給付金	300	0	300	
国庫返還金	10,250	0	10,250	
計	302,007	3,613	305,620	

Q 生活保護費は保護基準によって最低生活費を計算し、収入が最低生活費に満たないときに、その差額分を保護費として支払うとある。令和元年 12 月末現在の受給者は、137 世帯、173 人となっているが、独居の方はどれくらいおられるのか。

A 高齢者世帯の独居は 58 名、障がい者世帯の単身が 13 名、傷病者が 19 名、その他世帯が 23 名で合計 113 名が単身という事になります。

障害者自立支援給付事業 11,266 千円

(事業の目的)

障がい者及び障がい児が、その有する能力と特性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障がいに起因する日常生活上継続的に必要な介護サービスや、地域で生活を行うために一定期間提供される訓練等サービスに係る支援を行い、障がい者及び障がい児の福祉の増進を図ることを目的とする。

Q 訓練等給付が 11,777 千円と大きく増額しているが、特別な訓練なのか。要因はなにか。

通常の福祉サービスによる訓練で、特別な訓練ではございません。

※就労移行支援で、新規の利用者として 6 名増えております。平成 30 年度の単価、令和元年度の実績で給付していく中で令和元年度の利用形態が変わり、全体の支出が増えております。

■内訳

(単位：千円)

A

区分	①当初	②実績見込	差引 (② - ①)
介護給付	415,592	415,698	106
訓練等給付	281,222	292,999	11,777
計画相談支援	8,588	7,971	△ 617
計	705,402	716,668	11,266

※就労移行支援とは

障害者総合支援法に基づく就労支援サービスのひとつであり、一般企業への就職に必要な知識やスキル向上のためのサポートをしています。

クリーク防災機能保全対策事業 54,958 千円

(事業の目的)

本市のクリークは、法面等の崩落により隣接する道路や農地等への浸食被害を及ぼしている。護岸整備等を行うことによりこのような状況を改善するとともに、本来のクリークの持つ洪水貯留施設としての機能を回復させることを目的とする。

Q クリーク防災機能保全対策事業について、全体の進捗状況はどのようになっているのか。

A 本事業については、千代田中央 3 期、神崎市東部地区、神崎市西部地区と 3 つあります。令和 4 年度までの事業計画であり、全体の 76%が進んでおります。

道路橋梁新設改良事業(社会資本整備総合交付金) 27,000千円

(事業の目的)

市道国営千代田西 1 号線は、神崎市街地と千代田中央部を結ぶ重要な幹線道路であり、地域住民の生活道路としての利用に加え、市南部から市街地へのアクセス道路として、近年交通量が増加傾向にある。

しかしながら、道路幅員は 5 m と狭く普通自動車の離合もスムーズにできない状況であるため、平成 20 年度より道路改良事業を実施しており、現在 2 期工事区間である国道 264 号から県道佐賀八女線まで L = 2,000 m の改良を推進しているところである。

平成 28 年度までに国道 264 号から中央道路までの L = 950 m が概成、平成 30 年度までに合流工 3 基と「いなご橋」拡幅及び県道佐賀八女線から北へ L = 505 m が完成し、令和元年度は、引き続き L = 230 m の道路改良工事を実施する。

市道路ストックである橋梁、法面、舗装を適正に管理するため、引き続き橋梁定期点検及び長寿命化修繕計画策定並びにその他の施設の修繕を実施する。

また、新たに交通安全施設整備として農水省筑後川下流右岸農地防災事業区間の必要区間にガードレールを設置する。

Q

市道国営千代田西 1 号線のうち、神埼から国道 264 号までの区間に 1 ヶ所買収できずに残っている。国道 264 号から県道佐賀八女線までの区間についても未買収地が残っている。延長上(神埼から国道 264 号まで、国道 264 号から県道佐賀八女線までの区間)の内、未買収地はどれ位残っているのか。

A

市道国営千代田西 1 号線の神埼から国道 264 号までの区間に 1 筆延長 75 m が未買収地です。できたら早急に解決したいので、用地交渉を一生懸命行っており、今暫くお待ちいただければありがたいと思います。国道 264 号から県道佐賀八女線までの区間については、3 筆、約 200 m が未買収地です。

Q

筑後川下流右岸農地防災事業で、境原地区の工事はガードレールが外されている。復旧をどのような形で建設課と協議されているのか。また、姉地区の復旧されたガードレールが道路に打ち込まれているので幅員が狭くなっている。協議はどのように行われたのか。



千代田町姉

A

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事務所とは、工事する部分については原型復旧で協議がなされています。現地を確認し、違えば申し入れを行います。

各常任委員会のQ & A

文教厚生常任委員会

《議案第3号》(賛否:全員賛成) 神崎市印鑑条例の一部改正について

市民福祉部

Q 印鑑登録をできないのは意思能力を有しない者とありますが、現時点で該当する方が神崎市内におられるのですか。

A 成年被後見人に該当する通知が家庭裁判所から送られてきた場合は印鑑登録の廃止を行っておりますので、成年被後見人については、登録をされている方はおられません。今現在登録されている方は、全て意思能力を有する方です。

産業建設常任委員会

《議案第5号》(賛否:全員賛成) 神崎市営住宅管理条例の一部改正について

産業建設部

Q 民法で連帯保証人は、責任の極度額はありますか。

A 個人の方が連帯保証人になりますので、個人根保証契約に係るということで、民法上、極度額を定めなければ、その効力を生じないと書かれておりまして、極度額がいくらかというような形では書かれておりません。

《議案第6号》(賛否:全員賛成) 神崎市都市公園条例の一部改正について

産業建設部

Q 仁比山公園・横武クリーク公園・次郎の森公園に民地は含まれていますか。

A 仁比山公園の駐車場の一部が借地になっています。契約が5年契約になっていて、その都度買収の交渉をしていますが、現時点では、買収に至っておりません。また、横武クリーク公園については、一部民地が入っている部分がありますが、公園区域として指定はしていません。

今号の一般質問の記事については、会期の短縮により通告をしていた8名の議員が一般質問を行うことができなかったため、通告をしていた質問要旨を掲載しています。



吉田 守 議員

- ・ 神崎市における新たに実施される制度等について



福田 清道 議員

- ・ 保育所等への保護者の要望は多様化している、市の施策は。病後児保育等。
- ・ 中山間地と平野部農業法人等との連携について



白石 昌利 議員

- ・ 子どもインフルエンザ予防接種（任意接種）の費用一部助成について。
- ・ 子どもや保護者の居場所となる「子ども食堂」の取り組みについて。



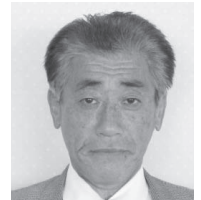
宮地 明 議員

- ・ 神崎市の財政（起債）について
- ・ 犬の目地区の問題について



西原 正剛 議員

- ・ 神崎市の医療・介護施設の現況について
- ・ 空き家・空地（雑種地・畑地）・遊休農地（耕作放棄地）・荒廃山林（管理放棄山林）の対応について



野副 芳昭 議員

- ・ 千代田西部地区に運動公園兼災害に備えた高台を考慮した避難場所の設置の検討を
- ・ 千代田東部下流地区の排水状況と今後の施策



松本 軍二 議員

- ・ 公共施設等管理計画について
- ・ 認知症徘徊事故対策について



原口ひさよ 議員

- ・ 子育て支援について
- ・ 女性の健康について



田原 和幸 議員

- ・ 関係人口の増加対策について
- ・ ふるさと納税の取り組みについて



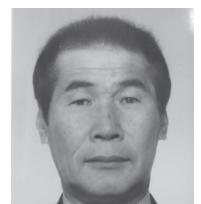
山本 千佳 議員

- ・ 教育機会の確保について
- ・ 林業スマート化実証事業について



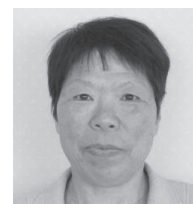
佐藤 知美 議員

- ・ 軽度・中度難聴児に対しての支援を求める
- ・ 国民健康保険税について



宮島 清 議員

- ・ ホテル神崎温泉の最終結果と今後の対応は
- ・ ふるさと納税の現状について



服巻 玉美 議員

- ・ 過疎化が進んでいる中山間地域に対する予算がどのように編成され、どのような将来像を考えているのか。



野口 英樹 議員

- ・ 神崎市の図書館について（現状と新館について）
- ・ シニア世代（定年退職前後含む）が生き生きできる、事業や講座について何う



中野 均 議員

- ・ 国営農地防災、クリーク防災機能保全事業について
- ・ 「幸せ」生み出すまちの働く場づくりについて



永沼 彰 議員

- ・ 昨年8月佐賀県に大きな被害をもたらした豪雨災害また台風19号から、何を学んだか。交通安全対策会議や地域からの要望への対応は。



木原 憲治 議員

- ・ SDGs（持続可能な開発目標）について
- ・ 給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）について



鳥栖市長等に決議を提出する

〈決議第 2 号〉

次期ごみ処理施設建設に対する決議

佐賀県東部環境施設組合の『次期ごみ処理施設建設事業』については、平成 28 年度に地元鳥栖市真木町の同意を得て、本事業の計画区域である鳥栖市真木町今川（旧ごみ処理場跡地ほか 4.2ha）にごみ焼却施設とリサイクル施設を併設して建設するよう計画がなされたところであります。

その後、本市は平成 28 年 12 月 27 日佐賀県東部地区ごみ処理施設の建設及び管理運営に関する覚書調印をしています。

しかしながら、平成 30 年度の土壌調査の結果、建設予定地の一部から、埋設物及び環境基準を超える物質が確認されたことから、平成 31 年 4 月に当初の建設予定地の北西部に位置する下水道高度処理用地（約 1.7ha）にごみ焼却施設のみを建設するよう計画変更がなされております。

そもそもごみ焼却施設とリサイクル施設は、両施設の性質上当初の計画のとおり、同一敷地内に併設することが効率的かつ経済的であります。

リサイクル施設の用地については、鳥栖市が選定するとされておりますが、現在のところ候補地等も決まっていない状況であると聞いております。

このような中、平成 27 年度の水防法一部改正に伴い、平成 31 年 4 月に鳥栖市洪水・土砂災害ハザードマップが公表され、建設予定地の浸水深が、3～5 m に、建設予定地周辺では 5 m 以上へと変更されております。

今回計画されているごみ焼却施設については、施設自体の災害対策は講じられていると聞き及んでおりますが、周辺の道路冠水等により施設へのごみ搬入が不能となる恐れは明らかであります。建設予定地に^{かし}瑕疵が無い事が、本市が計画参加に至った重要な要素であります。

以上の理由により、今回の建設予定地の場所は、適当ではないと判断し、建設候補地の再選定を要請するものであります。

また、鳥栖・三養基西部環境施設組合のごみ処理施設は、設置期限が令和 5 年度末とされていることは十分承知しておりますが、建設候補地再選定の所要期間については、関係市町から地元地区及び施設管理運転委託業者へ延長協議を行い、同意を得られる努力をしていただくよう、併せて要請いたします。

山口義文議長が、3 月 17 日、組合管理者の橋本康志鳥栖市長等に決議を手渡しました。

《議会の動き》 (令和 2 年 1 月～3 月)

1 月 7 日 第227回佐賀県市議会議長会
(唐津市)

8 日 議会広報編集特別委員会

15日 福岡県中間市議会より行政視察

22日 議会広報編集特別委員会

28日 議会広報編集特別委員会

九州市議会議長会第4回理事会
(熊本県八代市)

29日 全国市議会議長会基地協議会第
83回総会 (東京都)

2月 3 日 議会広報編集特別委員会

5 日 全国市議会議長会第108回評議
員会

18日 産業建設常任委員会

20日 総務常任委員会

文教厚生常任委員会

26日 議会運営委員会

2月28日 全員協議会

28日～ 令和 2 年 2 月第 1 回神崎市議会
3月16日 定例会

3月 4 日 議会運営委員会

令和元年度予算特別委員会

全員協議会

6 日 令和 2 年度予算特別委員会

議会広報編集特別委員会

9 日 議会運営委員会

9 日～ 令和 2 年度予算特別委員会
10日

11日 議会運営委員会

14日 議会運営委員会

15日 全員協議会

議会運営委員会

31日 議会広報編集特別委員会

議会広報編集特別委員会

委員長	松本 軍二	吉田 守
副委員長	野口 英樹	服卷 玉美
委員	宮地 明	山本 千佳



神崎市議会だよりをお読み頂き、ありがとうございます。現在の 6 人の議員メンバーで議会だよりを作成するのは、今号で最後になり、2 年間で 8 回の議会だよりを発行しました。読者の方の提案で、今号より各ページ上段に議会年月を追加しました。今後も、ひとりでも多くの方々に読み頂き、ご意見やご要望を賜りたいと思います。(記 野口 英樹)

編集後記